

木曽地域特定家畜伝染病防疫演習を開催しました

○実施日 10月7日（火）

○場 所 木曽町日義公民館

○内 容

鳥インフルエンザや豚熱などの特定家畜伝染病の発生が全国各地でコンスタントに確認されています。万が一、木曽郡内の養豚・養鶏場で発生が確認されてしまった場合、迅速な防疫措置を講ずるためには、郡内の関係機関との連携が不可欠です。

発生時に速やかな防疫措置を行うために、木曽農業農村支援センターと松本家畜保健衛生所の主催により木曽地域特定家畜伝染病防疫演習を毎年開催しています。

本年度は10月7日（火）に、木曽町の日義公民館で鳥インフルエンザが発生した想定での演習を行いました。

木曽郡内の6町村、木曽広域連合、JA木曽、NOSAI、獣医師会、木曽地域振興局各課を参考しました。まず、防疫措置を講ずる時の拠点となる集合基地・仮設テントを設営しました。その後、有事の際の一連の流れを演習しました。

どんな資材が必要なのか、どのような人の動きがあるかなどをシミュレーションできることで、参加者の頭の中に具体的なイメージが湧いたと思われます。また、よりスムーズかつ安全に運営するために課題となりそうな点も発見でき、大変有意義な演習となりました。



写真1：設営の様子



写真2：演習の様子